

おれんじニュース

令和5年1月

No. 78



第28回九州国際スリーデーマーチ2023

期日 令和5年3月3日(金)～5日(日)の3日間

出発 桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール)



よき経営者をめざすものの団体

公益社団法人 八代地方法人会

<http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/yatsushiro/>



八代市松江城町6-6

八代商工会館内

TEL 0965-32-1393



新年のご挨拶

会長 藤井 啓一

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和5年の年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。八代地方法人会活動につきまして平素より多大なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

法人会は良き経営者を目指すものの団体として会員の積極的な自己啓発を支援し納税意識の向上と企業経営及び地域社会の健全な発展に貢献を行っており、その存続意義と役割はさらに重要性を増しています。今後も地域に信頼され、愛される団体を目指してまいります。皆様のご支援ご協力をお願いします。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大に十分注意を払い、小学生を対象とした税知識の向上と関心を高めるための税ウォッチング・税の広場等の事業および租税教室を実施。小学校に対する図書寄贈の充実を図り、八代市郡・葦北郡・水俣市の小学校に図書を寄贈しました。

研修会は、本年10月の消費税インボイス制度の導入に関する事項につ

いて実施しました。会員の皆様の一助になれば幸いです。

「熊本県女性の集い」を八代で開催、「輝かしい未来は女性の視点から」をテーマに女性部会の交流と講演があり八代地方法人会女性部会をはじめ各会より多数の参加がありました。

特別講演会は11月に八代会場（瀬古利彦氏）水俣会場（笑福亭鉄瓶独演会）に講師を招き講演会を開催しました。税に関する絵葉書コンクール・献血・租税教室につきましては例年通り実施していきます。

本年もコロナに負けず、税に関する研修・イベント等に参加しての広報活動、献血活動、一般市民を対象とした特別講演会等さまざまな事業活動を展開していく所存です。

会員並びに関係各位の一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様の御健勝ご多幸と企業の益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ年頭のあいさつといったします。



新年ごあいさつ

八代税務署長 森 正 幸

明けましておめでとうございます。令和5年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

公益社団法人八代地方法人会並びに会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

藤井会長をはじめ役員並びに会員の皆様方には、税のオピニオンリーダーとして企業発展の支援、社会貢献活動の展開など、地域社会の発展等に大きく寄与されておられることに深く感謝申し上げます。

特に、児童生徒を対象に実施しておられます「税ウォッキング」、「税の広場」、「租税教室」、「絵はがきコンクール」などの租税教育事業は、将来を担う児童生徒が租税の意義や役割を正しく理解するということだけでなく、社会性や人格形成の面でも意義あるものと思っています。

さて、税務行政を取り巻く環境は急速に変化しており、経済取引のデジタル化やグローバル化に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に変化していく中、令和5年10月から始まる消費税の「インボイス制度」への対応も待ったなしの状況となってきております。

このような社会・経済の変化に的確に対応しつつ、「適正・公平な賦課及び徴収の実現」という国税庁の任務を遂行し、国民の皆様の理解と信頼を得ていくことが重要であると考えておりますので、今後とも、皆

様方のご意見や、様々なニーズをお聞かせいただき、納税者サービスの充実と適正・公平な税務行政の推進に努めてまいりますので、会員の皆様方には、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

間もなく、令和4年分の所得税等の確定申告の時期を迎えるが、税務署の申告会場等は大変混雑しており、いわゆる「3密」になりやすい状況です。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、各企業の従業員等の皆さんに、万一、感染された場合は企業活動への大きな影響も懸念されます。

感染防止対策として、スマートフォンや自宅のパソコンを活用した電子申告（e-Tax）とキャッシュレス納付が有効と考えておりますので、各企業の申告・納税手続はもちろんのこと従業員の方も税務署等に出向かず、より安心・安全な非対面による「e-Tax」と「キャッシュレス納付」をご利用いただけるよう幅広くご案内（周知）をお願いいたします。

最後になりますが、本年の干支は「卯（うさぎ）」で、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして、新しいことを挑戦するのに最適な年と言われています。公益社団法人八代地方法人会並びに会員の皆様方におかれまして、この新しい年が、更なる飛躍の年となりますことを心から祈念しまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

税を考える週間特別講演会

八代会場

令和4年11月2日㈫八代ホワイトパレスにおいて、元オリンピックマラソンランナーの瀬古俊彦氏を講師に招き、「心で走る～心で走り抜いたスーパーエース～」と題し、講演会を開催した。

会場には地域の方や、陸上関係者ら多数の方が来場され、オリンピック選出のエピソード等をユーモラスに語られ、終始笑いの絶えないパワー溢れる講演会であった。



水俣会場

令和4年11月29日㈯、水俣市総合もやい直しへンターもやい館において、上方落語家のリーダー格である笑福亭鉄瓶氏を招き、独演会を開催した。『古典落語』と身近に起った日常をネタにした『トーク』と、二つを披露する独自のスタイルが好評を得、笑いが炸裂した。

季節柄、急な冷え込みにもかかわらず、楽しみにしていた多くの方の来場があり、地域の活気となった。



初級複式簿記講座

令和4年9月2日(金)から10月26日(木)までの計21日間、八代商工会議所・八代青色申告会と共に実施。

商店や会社経営者、従業員、資格取得を目指す方々を対象に初級講座を開講し、具体的な記帳方法から簿記3級程度までの内容を勉強した。今回は15名の方が受講されました。

(講師:岡本信治 氏)



税の広場

令和4年9月25日(日)「第10回税のひろば」を開催した。八代城築城400年まつりの開催に合わせ、お祭りの会場内にブースを設けた。150組の親子が参加し、3択の税金クイズを話題に賑わいを見せた。



租税教室

令和4年11月29日(火)水俣市立水俣第一中学校にて、落語家の笑福亭鉄瓶氏を講師に迎え、税金の種類や仕組みを「租税落語」を通して学んだ。また、生徒たちが落語でうどんを食べる場面を手と扇子で表現する体験をした後、古典落語「時うどん」を披露。落語を聞いた生徒は、「難しく感じていた税金も、落語を通して聞くことで楽しく学ぶことができた」と感想を述べた。



令和4年12月8日(木)八代市立植柳小学校にて41名、12月20日(金)八代市立東陽小学校にて13名を対象に、租税教室を行った。

最初にDVDを鑑賞し、青年部による税の使い道に関する解説やクイズを行った。子どもたちは真剣な様子で参加していた。

(写真は、八代市立植柳小学校)



フードドライブ活動

10月は、食品ス削減月間です 御社もフードドライブ活動に参加しませんか

女性部会では、会員へ呼びかけ、「食品ロス」削減に取り組むため家庭に眠る食品を持ち寄り、食品を必要としている方を支援する「フードドライブ」活動として10月20日(木)八代市へ、集まった食品を寄付した。

【フードドライブとは】

家庭に眠っている食品を集めて、食品を必要としている地域の支援団体に寄付する活動のことです。コロナ禍等の影響により、食品を必要としている方が多くいらっしゃる中で、この活動に参加することが、SDGsの達成や地域社会への貢献につながります。

【受付できる食品例】

米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、飲料、調味料、乾物、粉類など常温で保存可能なもの。未開封で、包装に破損のないもの。



女性部会より守田会長・鋤馬把副会長



ご協力ありがとうございました

活動予定

開催日	事業		開催場所
1月19日(木)	新設法人説明会		桜十字ホールやつしろ
1月23日(月)	1月セミナー(水俣会場)	「インボイス制度」	もやい館
1月26日(木)	1月セミナー(芦北会場)	について	芦北町商工会
1月30日(月)	1月セミナー(八代会場)		八代ホワイトパレス
3月3～5日	九州国際スリーデーマーチ		桜十字ホールやつしろ
3月13日(月)	献血(水俣)		
3月17日(金)	献血(八代)		八代ホワイトパレス
3月26日(日)	芦北うたせマラソン		芦北海浜総合公園

税を考える週間

八代地方法人会会長賞受賞作文

私たちの税の行方

八代市立千丁中学校 三年 山 本 夏 奈

「納税の義務」これは国民の三大義務の一つである。中学生である私が身近に税に触れることができるのはコンビニなどで払う消費税だ。普段何気なく払っている税金だがなぜ払わなければならないのだろうか。実際私たちの生活にどう関わってくるのか。私たちが毎日通っている学校がその例である。税金がないとそもそも学校を建てることはできないし、机もいすも教科書もなくなってしまうだろう。また、通学路にある信号、標識なども税によってつくられているのだ。つまり、私たちは税金を納めなければ不自由な生活を送ることになってしまう。いわば、安全で快適な生活を過ごしたいのなら、税金を納めなければならないということなのだ。

税金は他にどんなことに使われているのだろう。最近は、医療機関やコロナ対策などにも税金が使われているらしい。例えば全世帯に配布した布製マスク。総額260億円をかけたと報じ、「税金の無駄使い」と批判を浴びた。国民は税の使い方について、とても関心を寄せていることがわかる。他にも、私たちの日々の生活の安全を守っている警察や消防に、ゴミの処理のためにも税金が使われている。そして、国家公務員や

地方公務員の給料も私たちが納めている税金が使われているのだ。私は税について調べていくうえで一つ気になったことがある。それは、犬や猫の殺処分にも税金が使われていたことである。私たちが納めている税金が、犬や猫を殺すために使われていると思うと少し悲しい気持ちになった。

こんな納税という制度にも大きな課題がある。それは、少子高齢化に伴う税金の変化である。現在、日本は急速に少子高齢化が進んでいる。40年で平均寿命が10歳も伸びているのだ。高齢者が増えれば増えるほど、子どもが減れば減るほど、ひとりひとりの税の負担が大きくなるのだ。実際2000年のとき高齢者一人に対する比率は3.6人であったが、2050年ではそれが1.3人にまで減少と言われている。このままの状態を放置すれば、現在の社会保障制度を維持するのは困難となるのだ。この課題を解決するためにはどんなことが必要なのだろうか。これから税について学ぶ機会は多いのだろうか。自分が18歳になって有権者になったらこういう課題を解決してくれそうな人に投票したいなと思う。私たちの暮らしを安全で快適に過ごすために。